

## 令和5年度 第2回久留米市立図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 日 時 令和6年2月16日（金）午後14時00分～15時00分
- 2 会 場 久留米市立中央図書館 3階会議室
- 3 出席者 山田会長、梅野副会長、友野委員、檜橋委員、笠野委員、鳥越委員、稲益委員、清水委員、関本委員、玉岡委員、吉川委員  
（欠席者：佐野委員、山口委員、杉委員、守委員、永利委員）
- 4 事務局 赤司館長、白谷主幹、臼井司書主幹、野中補佐、前田補佐、有田主査、中園
- 5 次 第
  - （1）開会
  - （2）議事
    - ① 令和5年度 久留米市立図書館事業報告
    - ② 令和6年度 久留米市立図書館事業スケジュール
  - （3）その他

### ～ 質 疑 応 答 ～

委 員：令和6年度図書館事業スケジュールについて。6月に田主丸館と三瀧館では男女共同参画についての事業が予定されているが、北野館や城島館でも取り組んでもらいたい。  
市長懇談においても10月の女性週間を久留米市全体で取り上げて欲しいと要望している。中央図書館でも女性週間には特設展示等の企画を検討して頂きたい。

事務局：男女共同参画週間では、中央図書館及び各地域図書館では男女平等推進センターと連携し、資料展示を行っている。女性週間については、男女平等推進センターと検討したいと考える。

委 員：城島館の事業が他の地域館に比べて少ない。もっと増やしてもよいのではないかと。

事務局：スケジュールに記載はないが、中央館及び地域館において様々な展示や企画を行っている。スケジュールに全ては書き込めないため、簡単な記載にとどめている。

委 員：学校図書館と市立図書館の交流について。前年よりも学校図書館の蔵書が増え、明るく感じられた。交流を通して学校側も変わっているのか。

事務局：学校司書との連携は強くなっていると感じている。教育委員会も学校図書館へ力を入れていると聞いているので、本の充実を図っているのではないかと考える。学校図書館は、子どもたちが本に親しむ場所でもあるので、改めて連携を進めていく。

委員：田主丸図書館仮出張所開設について。仮出張所開設後は、移動図書館による田主丸地域各校区への臨時巡回はどうか。

事務局：田主丸には7校区あり、そのうちの1校区に従来から巡回していた。田主丸図書館の休館により、9月から他の6校区にも巡回するようになったが、仮出張所が2月28日に開設されるため、3月末をもって6カ所の移動図書館の巡回については終了することを田主丸校区の会長に報告した。

委員：電子図書館サービスについて。図書の選定はもう済んでいるのか。

事務局：現在選定を行っているところ。

委員：県立図書館ではKINODENとTRCを導入している。幅広く一般書籍を取り扱っているが、ベストセラー本や人気作家の作品は図書館向けのコンテンツとして提供されにくい。サービス導入後は、アクセス契約終了後のコンテンツの更新等、維持管理について課題がある。また、TRCの電子書籍には音声読み上げ機能があるが、視覚障害のある方にとって、この読み上げ機能は難しいとの話をいただいている。

委員：今の意見に関して、前回協議会でも検討課題として挙がっていたが、今の状況で回答できることはあるか。

事務局：久留米広域電子図書館サービスは、プロポーザル方式の業者選定において、図書館流通センターを採用している。電子図書館向けに提供される書籍は多くなかったり、ベストセラー本がすぐに入らないことは理解している。電子書籍の読み上げ機能が利用しづらいという意見もあるようだが、利用できる人にとっては、利点になるのではないかと考える。導入後、利用者の意見を聞きながら進めていく。1万冊のコンテンツについては、半額分をデジタル田園都市交付金を利用し、半分を久留米市が負担する。来年度以降は久留米広域圏の自治体に費用を負担してもらい、コンテンツを入れ替えていく。

委員：どのような形で貸し出しをするのか、どのような制限を設けるのかについて、今のところ検討中なのか。

事務局：選書する中で考えているのは、買い切り型の本と、2年間の期間制限型の本をどのくらいの割合で購入するかというところ。全件のリストをもとに予算に合わせ、1万冊に近くなるようにしている。ある程度買い切り型を購入しておかないと、2年後には電子書籍がなくなってしまうということもあるので、その配分を考慮しながら選書している状況。割合については、まだ選書中であるため決定はしていない。

委員：県立図書館は基本的に期限付きのアクセス契約になっているが、年間に数回しか貸出実績がないものがある。あまりに利用回数が少ないものについては次回の更新は見送り、新たな電子書籍の中から魅力があるものを選ぼうとしている。

委員：実施事業について。おはなしボランティア養成講座やブックスタートボランティア研修会が開催されているが、中央館のみでの開催か。

事務局：令和5年度は、ボランティア講座は中央館で実施した。ボランティアは各館にいるため、各地域館で研修が必要ということであれば相談の上検討する。

委員：三潁のボランティアも高齢化が進んでいる。地域館でもボランティア講座が開催されれば、ボランティア活動参加のきっかけになるのではと考える。

事務局：中央図書館で講座を開催しているが、久留米市内の色々な地域から参加いただいている。その中には、実際の活動は地域館でしたいという方もいる。久留米市も横に広いため、その地域で講座を開催しないと人が集まらないということもあるので柔軟に対応したいと考える。

(その他)

委員：久留米市の予算で、そよ風ホールの改修調査費に2,200万円計上されているが、田主丸図書館の今後の改修計画等があれば教示いただきたい。

事務局：そよ風ホールには、ホール、図書館、生涯学習センターの3つの機能があり、それらの機能を今後どの様にしていくのか検討するための調査費として計上されているもの。田主丸図書館は地域に根付いた重要な施設と認識しており、財政部局等には早期復旧について要望している。